

議案質疑(議員の視点)

発言の一部を抜粋して掲載しています

荒木 俊彦 議員



Q 高尾野区みんなの家(公民館)は当初は、日本財団が公民館を建てて、高尾野区に寄付をするという説明であったが、今回の説明では、日本財団の基金を活用し、熊本県建築住宅センターが建築後、町が寄贈を受け、区に譲渡することになっている。

建設が遅れているのはそのようなことが原因なのか理由を明らかにすべきだ。

A 今回の事業は、公益財団法人日本財団の基金を活用して熊本県建築住宅センターが整備するもので、町は県を通して申請をする流れとなっている。当初の計画よりも建設が遅れた理由としては、熊本地震後の人材不足や資材の高騰により調整が難航したことによるものと聞いている。

坂本 典光 議員



Q 人・農地問題解決加速化支援事業は、農業改革の一環として地域の農業をどのようにしていくのかを考えていかなければいけないのだと思うが、町の取り組みが遅れているのではないか。

A 農地の集積については、地域で計画を立て、その後に1~2回見直しを進めている。国では、農地集積率80%を目標としているが、町では現在約50%であり、全国の平均も同程度である。平成25年の事業実施以降、農地の集積は図られているが、今後、より集落の実態に応じた個別計画の作成に取り組んでいく。

山部 良二 議員



Q 包括支援事業の虐待の増加に伴う時間外勤務手当が増額されているが、どのような虐待が増加しているのか。また、その要因はどのようなことなのか。

A 5月以降、高齢者虐待に関して長期にわたる対応が必要な案件があり、夜間や休日の緊急対応が発生しているため、予算の不足が見込まれている。虐待への対応については、職員だけでは不十分であるため、県の支援チーム等の協力を得ながら進めている。

永田 和彦 議員



Q 公益施設を町が区に無償譲渡することについて、今後人口が減り、区で管理ができなくなった場合はどこの管理をするのか。

迷惑施設になり町が最終的に処理しなければならない事も考えられるが、そこまで考えているのか。

A 公民館型みんなの家は、被災した地域の公民館の代替となるもの。今後も元の公民館同様、地域で適正に管理を行っていただけるよう、区長等と十分に協議をしていく。

佐藤 真二 議員



Q 行政区囃託員の仕事の重責を考えると廃止するだけでいいのか。今後、行政区囃託員は、何をして、どのような仕事のやり方で行っていくのが要綱等に規定があるべきである。また、根拠が必要ではないか。

A 行政区囃託員について条例としては廃止するが、業務内容については同じ内容を担っていただく形で委託を考えている。現在業務の洗出しをしているところで、一度整理をして囃託員の方に説明をし、要綱等の作成を進めていきたい。

金田 英樹 議員



Q 放置自転車290台の処分費用として、231,000円が計上されているが、公売などで処分してプラスを出している市町村もある。環境保護面からも有益な取り組みであり、そのような検討は行わなかったのか。

A 多くの自転車はリサイクルできない状態であったが、新たな処分の方法については今後検討していきたい。

活発な審議ののち全議案を全員賛成で可決

子どもたちの笑顔のために



12月定例会を、12月5日から12日までの8日間の会期で開きました。一般会計補正予算をはじめ条例の制定や改正など13件の議案を審議し、活発な質疑ののち、全ての議案について全員賛成で可決しました。最終日に追加議案として、人権擁護委員に樋口良久さん(陣内)、岩尾昭徳さん(岩坂)、松本晴美さん(室)が同意されました。一般質問には9人が登壇しました。(P6からP11に質問内容を掲載)

会議録が面白い

大津町議会では、日々の生活に身近な事柄についても活発な議論を重ねています。会議録は、開会から閉会までの発言の全てを記録したものです。議事事務局・図書館に会議録冊子を備え付けるとともに、ホームページにおいて、広く町民の皆様へ公開しています。※ホームページでは、2008年以降の会議録が閲覧できます。



大津町議会 検索

詳細はこちら



大津町議会HP会議録